

「平成27年度 革新的ものづくり産業創出連携促進事業」
(プロジェクト委託型)

提案書の作成にあたって

総括的注意

- 注1. 提案書の作成にあたり、公募要領を必ず確認してください。提案書の記入内容について注意事項があります。
- 注2. 提案書の作成にあたり記入上の注意(イタリック体部分)をよく読んでください。また、各項目の記入上のポイントにはアンダーラインを付けていますので、これに沿って申請書を作成してください。
- 注3. 提案書の項目を削除しないでください。(ただし、本ページ及び次ページ以降青字イタリック体で記入されている提案書の注意事項及び記載例は、削除してください)
- 注4. 記入に際しては、簡潔明瞭を旨とし、提案書のボリュームが大きくなるよう配慮してください。
- 注5. 特に注意がない場合は、項目間の行間は、適宜変更してください。
- 注6. 提案書は、添付書類を含め、全てA4サイズとしてください。(会社案内等もA4サイズでない場合は、A4サイズにコピーしてください)
- 注7. 正本1部は片面印刷とし、写し15部は両面印刷としてください。
- 注8. 各部(正本1部、写し15部)ごとに左上をダブルクリップで止めてください(ホッチキス等で緩じたり、製本したりしないでください)。また全てに縦二穴パンチ穴をあけてください。

(提出にあたっては、本ページは削除してください。)

(提出にあたっては、本ページは削除してください。)

注1. この提案書には、以下の書類を添付してください。

- ①提案書
- ②要約 (添付資料1)
- ③研究開発内容等説明書 (添付資料2)
- ④経費明細内訳書 (添付資料3)
- ⑤参加機関の概要 (添付資料4)
- ⑥業務管理者研究経歴書 (添付資料5)
- ⑦主要開発者一覧 (添付資料6)
- ⑧利害関係のある評価者 (添付資料7)
- ⑨NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票 (添付資料8)
- ⑩法人案内パンフレット等 (法人経歴のわかるもの)
- ⑪直近2期分の貸借対照表、損益計算書及び個別注記表など経営状況を示す書類
- ⑫e-Rad応募内容提案書

注2. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判としてください。

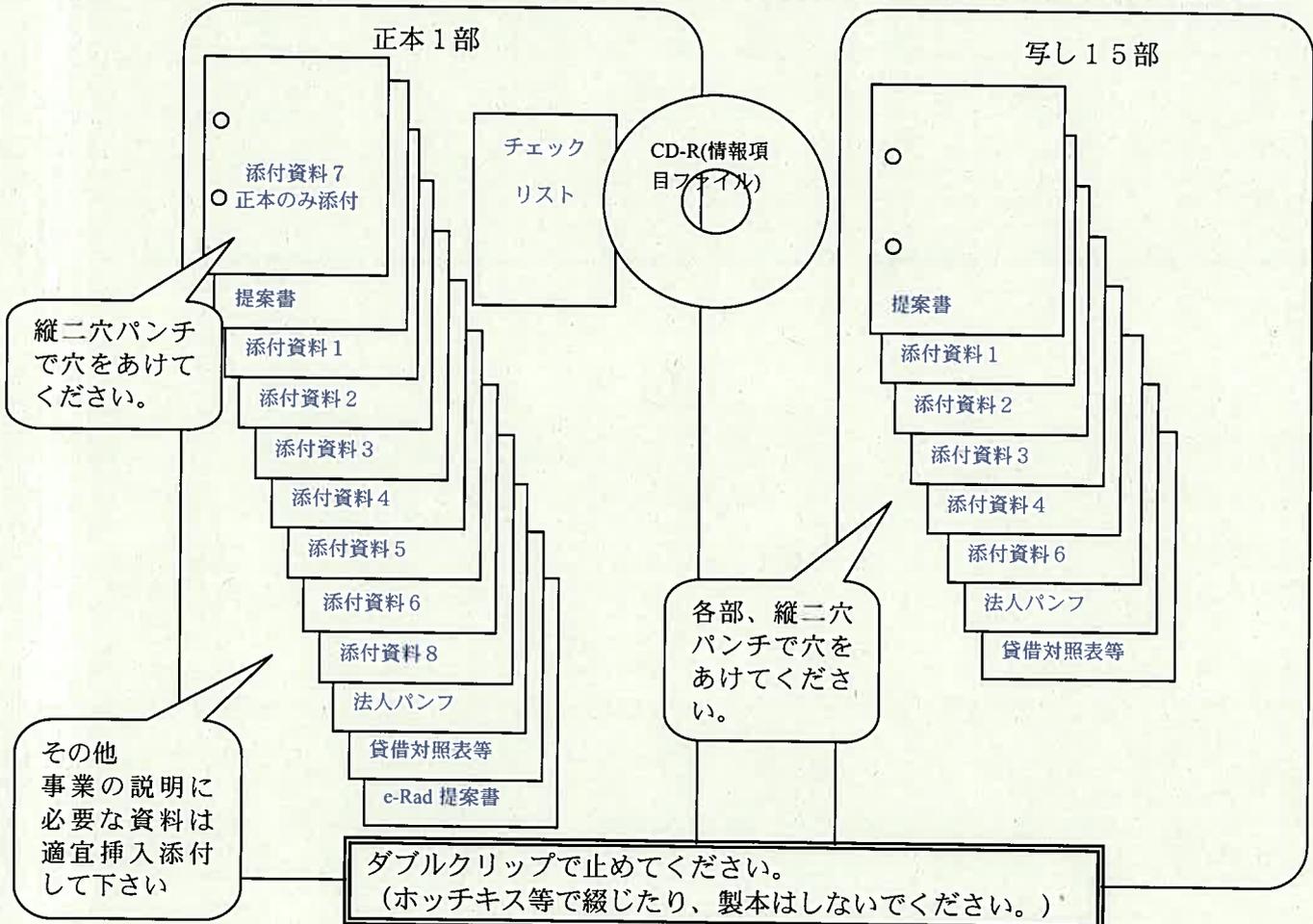
(⑩、⑪は、元の資料がA4版以外の大きさであれば、コピーしてA4版としてください。
なお、様式は問いません。)

◇提案書のとじ方と提出方法について◇

提案書 (正本1部: 片面印刷) は下記参考1に従い、一式としてとじてください。
また、提案書 (写し15部: 両面印刷) は参考2に従い、一式を15部作成ください。
作成された正本1部、写し15部、チェックリスト、CD-R (情報項目ファイル) を一式として
NEDOに送付してください。

●参考1 提案書 (正本1部: 片面印刷)

●参考2 提案書 (写し15部: 両面印刷)



中小企業者等の記載例

・提案者及び共同体全ての構成員について、構成員毎に本紙を作成してください。

右記の番号は、提案者の社内文書番号がある場合のみ記入→

番 号
平成27年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長 殿

・提案者等は法人格を有する機関です。

・代表者名には、職名・氏名を記載してください。

・代表者印を押印してください。

住 所：〒0000-0000

0000県0000市・・・

提案者等名：0000000000株式会社

代表者名：代表取締役社長 00 00

平成27年度「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」に関する提案書

「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」について提案したいので、関係書類を添えて提出します。

記

提案テーマ (40字以内)	0000の技術開発
提案者等名	◎ 0000株式会社 (法認定事業者) 0000大学 (協力者：橋渡し研究機関) 0000株式会社 (協力者) 法認定事業者名を一番上に記載し、法認定事業者以外の構成員名 (=連名提案者) を全て併記し、法認定事業者名の前に◎印を付してください。

◆構成員名：000株式会社 (以下の各種責任者等が所属される構成員名を記載してください)

【業務管理者：提案テーマに関する技術面の責任者】

氏 名：00 00

所 属：000部 △△△課

役 職 名：00000部長

T E L：△△△-△△△-△△△△ (代表) 内線△△△△

F A X：△△△-△△△-△△△△

E-mail：*****@*****

所 在 地：〒0000-0000 00県00市・・・・・・

【経理責任者：提案テーマに関する経理面の責任者】

氏 名：00 00

所 属：000部 △△△課

役 職 名：00000部長

T E L：△△△-△△△-△△△△ (代表) 内線△△△△

F A X：△△△-△△△-△△△△

E-mail：*****@*****

所 在 地：〒0000-0000 00県00市・・・・・・

【連絡責任者：提案テーマに関する各種連絡の責任者】

氏 名：00 00

所 属：000部 △△△課

役 職 名：00000部長

T E L：△△△-△△△-△△△△ (代表) 内線△△△△

F A X：△△△-△△△-△△△△

E-mail：*****@*****

所 在 地：〒0000-0000 00県00市・・・・・・

緊急連絡先：△△△-△△△-△△△△ (必ず連絡が取れる電話番号を記載してください。)

橋渡し研究機関の記載例

・提案者及び共同体全ての構成員について、構成員毎に本紙を作成してください。

右記の番号は、提案者の社内文書番号がある場合のみ記入→

番 号
平成27年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長 殿

・提案者等は法人格を有する機関です。

・代表者名には、職名・氏名を記載してください。

・代表者印を押印してください。

住 所：〒0000-0000
0000県0000市・・・
提案者等名：0000000000大学
代表者名：理事長 00 00

平成27年度「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」に関する提案書

「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」について提案したいので、関係書類を添えて提出します。

記

提案テーマ (40字以内)	0000の技術開発
提案者等名	◎ 0000株式会社 (法認定事業者) 0000大学 (協力者：橋渡し研究機関) 0000株式会社 (協力者) 法認定事業者名を一番上に記載し、法認定事業者以外の構成員名 (=連名提案者) を全て併記し、法認定事業者名の前に◎印を付してください。

◆構成員名：0000大学 (以下の各種責任者等が所属される構成員名を記載してください)

【業務管理者：提案テーマに関する技術面の責任者】

氏 名：00 00
所 属：0000学部 ΔΔΔ学科
役 職 名：000000科長
T E L：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ (代表) 内線ΔΔΔΔ
F A X：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ
E-mail：*****@*****
所 在 地：〒0000-0000 00県00市.....

【経理責任者：提案テーマに関する経理面の責任者】

氏 名：00 00
所 属：0000学部 ΔΔΔ学科
役 職 名：000000科長
T E L：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ (代表) 内線ΔΔΔΔ
F A X：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ
E-mail：*****@*****
所 在 地：〒0000-0000 00県00市.....

【連絡責任者：提案テーマに関する各種連絡の責任者】

氏 名：00 00
所 属：0000学部 ΔΔΔ学科
役 職 名：000000科長
T E L：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ (代表) 内線ΔΔΔΔ
F A X：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ
E-mail：*****@*****
所 在 地：〒0000-0000 00県00市.....
緊急連絡先：ΔΔΔ-ΔΔΔ-ΔΔΔΔ (必ず連絡が取れる電話番号を記載してください。)

添付資料 1

[要 約]

平成 27 年度「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」に関する提案書

- ・ 2 ページ以内で記載してください。

<p>提案テーマ (40 字以内)</p>	<p>〇〇〇〇の技術開発</p>										
<p>提案者等名</p>	<p>◎ 〇〇〇〇株式会社 (法認定事業者) 〇〇〇〇大学 (協力者: 橋渡し研究機関) 〇〇〇〇株式会社 (協力者) <u>法認定事業者名を一番上に記載し、法認定事業者以外の構成員名 (=連名提案者) を全て併記し、法認定事業者名の前に◎印を付してください。</u></p>										
<p>中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく法認定 (いずれか一つをチェック、法認定済みの場合は認定内容を記載)</p>	<p><input type="checkbox"/> 法認定済み 【認定内容】</p> <table border="1" data-bbox="453 685 1410 864"> <tr> <td>認定機関、認定番号</td> <td>〇〇経済産業局 XXXXXXX</td> </tr> <tr> <td>計画名</td> <td>〇〇の精密微細加工とXX技術の開発</td> </tr> <tr> <td>技術分野</td> <td>〇〇〇〇に係る技術</td> </tr> <tr> <td>申請者</td> <td>〇〇〇〇株式会社</td> </tr> <tr> <td>法認定計画の協力者</td> <td>〇〇大学、〇〇〇株式会社</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 法認定申請中、申請予定</p>	認定機関、認定番号	〇〇経済産業局 XXXXXXX	計画名	〇〇の精密微細加工とXX技術の開発	技術分野	〇〇〇〇に係る技術	申請者	〇〇〇〇株式会社	法認定計画の協力者	〇〇大学、〇〇〇株式会社
認定機関、認定番号	〇〇経済産業局 XXXXXXX										
計画名	〇〇の精密微細加工とXX技術の開発										
技術分野	〇〇〇〇に係る技術										
申請者	〇〇〇〇株式会社										
法認定計画の協力者	〇〇大学、〇〇〇株式会社										
<p>特定のテーマ (いずれか一つにチェック)</p>	<p><input type="checkbox"/> クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現に資する技術 <input type="checkbox"/> 国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現に資する技術 <input type="checkbox"/> 世界に先駆けた次世代インフラの構築の実現に資する技術 <input type="checkbox"/> 産業競争力の源泉としての ICT (情報セキュリティ、ビッグデータ解析、ロボット、制御システム技術等)、ナノテクノロジー (デバイス・センサや新機能材料)、環境技術 (地球観測技術や資源循環等) に関する技術</p>										
<p>橋渡し研究機関の確認申請 (いずれか一つにチェック)</p>	<p>機関名 <u>〇〇大学</u></p> <p><input type="checkbox"/> 確認済み (確認番号: 27H1XXX) <input type="checkbox"/> 同時に確認申請中 (受付番号: 27H1XXX)</p>										
<p>提案テーマのキャッチフレーズ</p>	<p><u>提案テーマを専門家以外でも理解できるような言葉でわかりやすく表現してください。</u></p>										

<p>提案テーマ の概要 (200字以内)</p>	<p>① 提案テーマの特徴（コアとなる部分）は何で ② 提案テーマに取り組んだ成果はどんなものを生み出し ③ その成果が特定のテーマ（政策課題）にどのように寄与するのか ということを、平易な言葉で、簡潔に記載してください。</p>
<p>技術開発の概要</p>	<p>53頁の「3. 研究開発の具体的内容」を簡潔に記載してください。 必要に応じて、説明を補う図表等を挿入いただいて結構です。</p>
<p>事業化計画の概要</p>	<p>60頁の「12. 事業化計画」を簡潔に記載してください。 必要に応じて、説明を補う図表等を挿入いただいて結構です。</p>

研究開発内容等説明書

1. 計画名及び認定番号

- ・認定申請中の場合は、「認定番号」の代わりに「認定申請中」と記載してください。（変更申請中の場合は、「変更申請中」と記載）
- ・法認定計画の計画実施期間が、本事業における実施期間を包含している必要があります。

認定機関、認定番号	〇〇経済産業局 ××××××
計画名	〇〇の精密微細加工と××技術の開発
申請者	〇〇〇〇株式会社
法認定計画の協力者	〇〇大学、〇〇〇株式会社
認定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日 ※認定申請中の場合は、「—」と記載
法認定計画における 計画実施期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日 ～平成〇〇年〇〇月〇〇日
上記期間のうち、 本事業における実施期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日 ～平成〇〇年〇〇月〇〇日

2. 特定ものづくり基盤技術の種類・川下産業分野

- ・(1)(2)については、39頁の「特定ものづくり基盤技術」から記載してください。

(1)主たる技術(1つ) () (2)従たる技術(1つ) ()

(3)利用技術 (該当するものを全て○で囲んでください。最低1つ)

- ・(3)(4)については、特定研究開発計画等において、利用技術と成果の活用を想定している川下産業分野について該当するものを全て(最低1つ)を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 設計 | 2. 圧縮成形、押出成形、空気の噴射による加工、射出成形、鍛造、鋳造及びプレス加工 |
| 3. 圧延、伸線及び引抜き | 4. 研磨、裁断、切削及び表面処理 |
| 5. 整毛及び紡績 | 6. 製織、剪毛及び編成 |
| 7. 縫製 | 8. 染色 |
| 9. 粉砕 | 10. 抄紙 |
| 11. 製版 | 12. 分離 |
| 13. 洗浄 | 14. 熱処理 |
| 15. 溶接 | 16. 溶融 |
| 17. 塗装及びめっき | 18. 精製 |
| 19. 加水分解及び電気分解 | 20. 発酵 |
| 21. 重合 | 22. 真空の維持 |
| 23. 巻取り | 24. 製造過程の管理 |
| 25. 機械器具の修理及び調整 | 26. 非破壊検査及び物性の測定 |

(4)研究開発成果の活用を想定している川下分野(該当するものを全て○で囲んでください。)(最低1つ)

- | | | | | | |
|--------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-------|
| 1. 医療・健康 | 2. 環境・エネルギー | 3. 航空・宇宙 | 4. 自動車 | 5. ロボット | 6. 農業 |
| 7. コンテンツビジネス | 8. 産業機械 | 9. 情報通信 | 10. 情報家電 | 11. 食品 | |
| 12. 建築物・構造物 | 13. 電池 | 14. 半導体 | 15. 工作機械 | 16. エレクトロニクス | |
| 17. 印刷・情報記録 | 18. 光学機器 | 19. 化学品製造 | 20. その他 () | | |

(5) 「特定のテーマ」に沿った研究開発 (該当するものにいずれか1つを○で囲んでください。)

- | |
|---|
| 1. クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現に資する技術 |
| 2. 国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現に資する技術 |
| 3. 世界に先駆けた次世代インフラの構築の実現に資する技術 |
| 4. 産業競争力の源泉としての ICT (情報セキュリティ、ビッグデータ解析、ロボット、制御システム技術等)、ナノテクノロジー (デバイス・センサや新機能材料)、環境技術 (地球観測技術や資源循環等) に関する技術 |

3. 研究開発の具体的内容

- ・ 法認定申請書に基づき、記載してください。

(1) 研究開発の動機・背景

- ・ 研究開発における動機・背景についてわかりやすく記載してください。

(2) 従来の問題点

- ・ 本事業で研究開発を進めるにあたって、従来は何が問題であったのか、具体的に記載してください。

(3) 解決すべき研究開発課題、研究開発の内容

- ・ (2)で示した問題点に対し、解決すべき技術的な課題を記載し、具体的に何を行うのか、研究開発の内容を記載してください。
- ・ 研究開発の内容は、必要に応じて図表等を用いてわかりやすく記載してください。
- ・ 法認定申請書別表1の「特定ものづくり基盤技術の高度化を図るための特定研究開発等の目標」と整合を取ってください。また、法認定申請書別表2の「1. 特定研究開発等の具体的内容」を基本に研究項目毎に記載してください。

4. 「研究開発の高度化目標及び技術的目標値」・「研究実施スケジュール」

- 3. (2)、(3)を受けて、何を指し、何を解決し、研究開発成果を基に「実用化時の最終目標」を下表に記載し、「平成27年度終了時」、「平成28年度終了時」及び「平成29年度終了時」の達成目標を下表に記載してください。
- 提案者等自らが実施するレベルで、定量的に目標を記載してください。
- 各目標の設定理由を客観的に記載してください。
- 法認定申請書別表2の「1. 特定研究開発等の具体的内容」を基本に研究項目毎に記載して下さい。

【番号】研究項目 (サブテーマ)	実用化時の最終目標	当該研究項目に係る研究開発等により達成しようとする年度目標											
実施内容 ※研究開発項目毎に記載すること ※必要に応じて欄を追加すること		実施時期 (実施の始期と終期を矢印で記載)											
		平成27年度				平成28年度				平成29年度			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
【1. ……課題への対応】	○○を××%以上を安定して達成する。	○○を××%向上	……加工の最適化条件を特定す				△△の速度を×以上向上させる						
※研究項目毎に記入すること 【1-1】○○の設計 ○△製作所 ……による研究により……の…		・当該サブテーマに係る研究開発等により達成しようとする最終目標及び年度毎の目標を記載してください。											
【1-2】○○の検討 □△工業 ……			・実施の始期と終期を矢印で記載してください。										
【2. ○○の開発】							□△の開発を行い						
【2-1】□△高精度切削装置○○の検討 □△工業 ……													

【目標の設定理由】

- ・ 法定申請書別表2の「1. 特定研究開発等の具体的内容」を基本に研究項目毎に記載して下さい。

(例)

【1. ……課題への対応】

【1-1】○○の設計

- ・ 「事業化する際の最終目標」の設定理由：○○○○
- ・ 初年度の達成目標の設定理由：○○○○
- ・ 第2年度の達成目標の設定理由：○○○○
- ・ 第3年度の達成目標の設定理由：○○○○

【2. ○○の開発】

- ・ 【2-1】□△高精度切削装置の開発
- ・ 「事業化する際の最終目標」の設定理由：○○○○
- ・ 初年度の達成目標の設定理由：○○○○
- ・ 第2年度の達成目標の設定理由：○○○○
- ・ 第3年度の達成目標の設定理由：○○○○

5. これまでの技術開発の状況等

- ・ 提案テーマにおける技術開発の基となる取り組みについて、開発内容、開発成果を、実験データ等を示しながら記載してください。

6. 主要論文・研究発表等

- ・ 提案テーマに関する主要論文、研究発表について記載してください。

(例)

【論文】

1)○○○○他：“○○の材料開発”，○○学会誌，○○巻○○号，p.○○○，2008.

【研究発表】

1)○○○○他：“○○の探索”，○○討論会，東京，2007.

7. 提案テーマの優位性、独自性等

- ・ 提案テーマが競合技術・従来技術との比較において、特徴・性能(コスト・サイズ・重さ・耐久性等)等に関する比較表を作成し、客観的に優位性、独自性等を示してください。
- ・ 提案テーマの技術分野において、技術的な優位性を有することを明記してください。

8. 研究開発成果及び期待される効果

- ・ 研究開発成果に係る技術・製品等の名称、概要(用途、特徴等を記載)を製品等毎に記載してください。
- ・ その他波及効果、新たな事業展開の可能性について記載してください。

9. 研究開発成果が特定のテーマの解決に資することの理由

- ・ 研究開発成果に係る技術・製品等が「特定のテーマ」の課題解決にどのように寄与するのか、特定のテーマに関する政策課題と本事業で目指す研究開発成果及び期待される効果とを示し、以下の記載例を参考に記載してください。

(記載例)

太平洋を横断する大型の船舶については、1年間の航海でフジツボ等の海洋生物が船底に付着すると、プロペラが生み出す推進力が数十パーセント減るほか、海水との摩擦抵抗〇〇%～〇〇%が増えて燃費が悪くなる。

船舶では船底に付着したフジツボ等の海洋生物を3～5年毎に除去する必要があり、1回で〇〇〇〇万円～〇億円の費用がかかる場合がある。

また、これらの除去作業については、従来、主に潜水士による除去や船舶を陸上に上架するドック時において海洋生物の完全除去が行われており、ある程度の作業日数を要することから、定期的な海上運送需要に対応できないという課題を抱えていた。

そこで、今回の当社が研究開発する「船底に固着した海洋生物の清掃装置」の実現により、定期的な船底の清掃を行うことができ、加えて、従来の潜水士などによる除去手法に比べ、除去作業に要する作業日数や費用が大幅に圧縮し頻繁に作業を行うことができるため、年間コストとして〇〇〇〇万円の削減が実現できると試算するものである。

現在、世界には総トン数100トン以上の船舶が、世界中に約88,000隻存在しており、当社が研究開発を目指す「船底に固着した海洋生物の清掃装置」は、我が国のみならず世界のクリーンで経済的なエネルギーシステムの実現に資する技術となるものである。

10. 研究開発成果が今後公共調達に繋がる理由

- ・ 研究開発成果に係る技術・製品等が、今後、どのような公的機関(国、地方公共団体、独立行政法人等)の、どのような分野において活用が期待されるのか、以下の記載例を参考に記載してください。

(記載例)

船底に付着するフジツボ等の海洋生物の除去については、大型船などの一般船舶のみならず、海上保安庁や防衛省などのいわゆる緊急船舶も同様の除去作業が必要となるが、緊急航行が求められる緊急船舶においては、これらの除去作業の間は緊急運航に対応できないリスクを抱えており、作業日数を如何に短縮するかが課題となっている。

一方で、こうした緊急船舶が緊急時に最大限の推進力を発揮するためには、精度の高い頻繁な除去作業が不可欠である。

今回、当社が研究開発する「船底に固着した海洋生物の清掃装置」は、船舶を陸上に上架することなく作業を行うことができるため、作業日数の大幅な短縮、及び作業頻度を確保することが可能となることに加え、従来の潜水士による作業では困難であった付着物の除去により、プロペラが生み出す推進力を最大限に活かし、海水との摩擦抵抗をより抑さえた状態での緊急航行が実現できることから、海上保安庁などの緊急船舶等への公共調達が見込まれる。

-----<改頁してください>-----

11. 実施体制、実施計画、経費計画等

(1) 実施体制

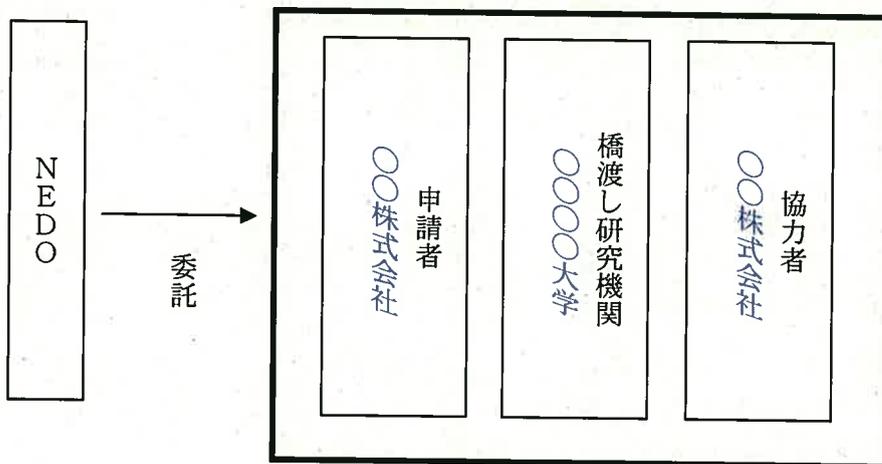
- ・ 実施体制は、平成27年度、平成28年度、平成29年度を実施することを想定して全体の実施体制及び役割分担を記載してください。
- ・ 実施体制は、事業開始後は変更ができませんので、ご注意ください。

【研究実施機関】 中小企業チェック欄には、中小企業の有無を「○」「×」で記載ください。

研究実施機関 (機関名)	代表者 役職氏名	連絡先	中小企業 チェック	備 考
〇〇株式会社 (法認定事業者)	代表取締役 〇〇太郎	①所在地 〒XXX-XXXX 東京都〇〇区…… 〒XXX-XXXX 千葉県〇〇市…… ②連絡先担当者氏名 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤E-mail アドレス	○	
〇〇〇〇大学 (橋渡し研究機関)	学長 〇〇次郎	①所在地 〒XXX-XXXX 茨城県〇〇市……	-	
〇〇株式会社 (協力者)	代表取締役 〇〇三郎	①所在地 〒XXX-XXXX 岐阜県〇〇市……	×	

・ 「連絡先」の所在地は、会社の本社所在地と研究開発実施場所が異なる時は、双方を併記し、研究実施場所に下線を引いてください。

(例)



<役割分担>

提案者：ベンチモデル装置の開発、ビジネスプランの策定

橋渡し研究機関：ベンチモデル装置での技術開発成果の性能評価

協力者：ベンチモデル装置の機構原理の解明

(2) 総括研究代表者(PL)、副総括研究代表者(SL)

総括研究代表者 (PL)	副総括研究代表者 (SL)
(フリガナ) : 氏名 : 事業者名・所属部署名 : 所属役職 : Tel : Fax : E-mail : e-Rad 研究者番号 (8ケタ) :	(フリガナ) : 氏名 : 事業者名・所属部署名 : 所属役職 : Tel : Fax : E-mail :

(3) アドバイザー(任意)

・代表者等は、①代表者役職・氏名、②連絡先担当者、③電話番号を記載してください。

機関名又は氏名	所在地又は住所	代表者等	具体的な協力内容
○電機	〒XXX-XXXX 神奈川県……	①代表取締役社長 ○○○○ ②技術部 □□○○ ③000-000-0000	……に関する技術 開発について、……を 行う点で助言・協力を 行う予定。
△△研究所	〒XXX-XXXX 茨城県……	① ② ③	

(4) 実施場所

① 特定研究開発等の拠点となる施設(主たる研究開発等の実施場所)

施設名称:

住所:

(法認定事業者の住所と異なる理由:)

② 研究開発項目毎の研究開発等の実施場所

・ 54頁の4.「研究開発の高度化目標及び技術的目標値」・「研究実施スケジュール」の研究項目毎に実施場所を記載してください。

(例)

【1. ……課題への対応】

【1-1】○○の設計

○○○○○株式会社

○○都○○区○○丁目○○番地○○号

(5) 実施経費計画の内訳

【添付資料3】の経費明細内訳書のとおり。

- ・ 経費明細内訳書には、機器設備費、労務費、事業費、一般管理費、消費税及び地方消費税の各経費別に記載してください。
- ・ 採択となった場合は、NEDOの定める「委託費積算基準」に基づき、委託費の算出を行うため、提案時における【添付資料3】の金額が契約金額となることをお約束するものではありません。

中小企業要件の確認

以下に基づき中小企業要件を確認してください。

- ・【添付資料3】に記載する金額と整合していることが必要です。

初年度	I	円	II	円	III	%	$\geq 2 / 3$
第2年度	I	円	II	円	III	%	$\geq 2 / 3$
第3年度	I	円	II	円	III	%	$\geq 2 / 3$

- ① この事業における提案経費総額(税抜き)
- ② ①のうち中小企業者等の委託額(税抜き)
- ③ 研究開発機関が購入した機器設備費総額(機器設備等のレンタル・リース代を含む)(税抜き)のうち中小企業者等が専ら使用する機器設備の経費総額(税抜き)

I : ① II : ②+③ III : II ÷ I × 100 (小数第2位四捨五入)

(6)業務管理者の研究経歴及び主な開発者(添付資料5及び添付資料6)

- ・ 「添付資料5」及び「添付資料6」に記載してください。
- ・ 業務管理者とは、提案テーマ全体の責任者を指します。提案テーマに関する技術的な内容等について、NEDOからご質問等をさせていただきます。

-----<改頁してください>-----

12. 事業化計画

(1) 実用化を行う製品・サービス等の概要

①内 容

- ・ 本開発の成果をどのような製品・サービスとして提供するかをアプリケーション（ユーザ側から見た製品・サービスの適用先・利用方法）及び販売形態（製品販売、製造装置販売、ライセンス販売、リース、サービス提供等）を含めて具体的かつ明確に記入してください。

②用途（販売予定先）

- ・ 当該製品・サービスの販売先等を可能な限り具体的に記入してください。
- ・ ユーザにとっての製品・サービスの購入動機や購入によるメリットを記入してください。

③具体的ニーズと、使用が予定される環境（マーケットの現状及び将来の規模、競争環境）

- ・ どのような市場調査に基づき市場ニーズが有ると判断したかを具体的に記入してください。
- ・ 市場調査の結果を踏まえて、見込みユーザ（販売先）の業種・業態、企業規模、ユーザ数を記入してください。
- ・ ユーザ（販売先）からの意見（評価・要望・要求スペック・価格）を具体例を挙げて記入してください。契約書又は覚書等があれば、その写しを添付してください。
- ・ 契約書又は覚書等及び推薦書の添付は任意です。

(2) 実用化への取組み

①実用化を考えるに至った経緯（動機）

- ・ 研究開発を目指した背景についてビジネス面を中心に記入してください。
- ・ ビジネス面で共同研究先の橋渡し研究機関との取組があれば記入してください。

②事業として成功すると考えた理由

（ビジネスプラン面での優位性）

- ・ 本研究開発の成果に関するビジネスプランを示し、事業化が成功すると考える根拠を記入してください。

（実用化体制）

- ・ 本委託事業期間終了後の事業化に向けた体制（単なる研究開発体制ではなく、事業部等の関与が判るように）を図示してください。なお、体制には必ず事業化責任者（事業化時に中心となる担当者（あるいは責任者））の方の所属、役職、名前等を記入し、図中に「※」を付してください。
- ・ 協力会社・販売代理店等の社外体制も図に含めてください。（想定を含む）

③事業化に至るまでのスケジュール

- ・ 本委託事業期間終了後概ね5年以内で実用化が可能な具体的計画を記入してください。
- ・ 本委託事業期間終了後5年間の事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記入してください。
- ・ 事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記入してください。
- ・ また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。

事業期間終了後 項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	想定される 重大な障害
サンプルの出荷	→					要求特性を満足できない
追加研究		→				
設備投資		→				市況悪化による部材の高騰
製品等の生産			→			歩留り悪化による生産コストの高騰
製品等の販売			→			販売先での製品仕様変更に伴う販売量減
特許出願	→					
出願公開			→	→	→	
特許権設定				→	→	
ライセンス付与						
投資金額 (百万円)	35	110	30	30	120	
売上高 (百万円)	0	0	250	375	539	
収益 (百万円)	0	0	50	100	133	
直接新規雇用者数 (累積人)	5	13	60	65	77	
間接雇用数を含む新規創出 雇用者数 (累積人)	12	35	98	123	166	

(3) 市場の動向・競争力

①市場規模 (現状と将来見通し) / 産業創出効果

- ・ 本委託事業期間終了後5年経過迄の国内と海外の市場規模推移 (百万円) を示し、その根拠及び出典を記入してください。
- ・ また、市場における提案者のシェアの推移を見通し、その根拠を記入してください。
- ・ シェア獲得の方法 (マーケティング戦略等) を記入してください。
- ・ 開発製品・サービスが既存市場における提案者のシェア拡大に貢献するのか、新たな市場を創出するのかを記入してください。新たな市場を創出する場合は、市場立ち上げの時期及び立ち上げに関するリスクと対策を記入してください。

②競合が想定される他社の開発動向とそれに対する優位性の根拠

(開発製品・サービスの競合製品に対する優位性 (性能及び価格等の比較))

- ・ 競合が想定される他社の製品・サービスと本開発製品との性能及び価格等に関する比較表を作成し、本開発製品の優位性の根拠を記入してください。

- ・ 本開発製品の優位性を将来に向けて維持する方策を記入してください。

(製造に関する優位性)

- ・ 製品の製造体制を記入し、それらが競合他社に対してどのような優位性があるかを記入してください。
- ・ 製造の一部又は全部を自社で行わない場合は、外注先の選定、協力体制等を具体的に記入してください。

(販売力に関する優位性)

- ・ 製品の販売体制及び既存の販路を記入し、それらが競合他社に対してどのような優位性があるかを記入してください。
- ・ 販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、外注先の選定、協力体制等を具体的に記入してください。
- ・ 該当分野又は市場のシェアが高い等の強みがあれば記入してください。
- ・ 製品・サービスの特性に合わせた販売力の強化や新たな販売手段の獲得等の予定があれば記入してください。
- ・ 製品・サービスの販路開拓方法、ブランド向上方法を記入してください。

③価格競争力(再掲)

- ・ 競合他社の製品・サービスと本開発製品との価格に関する比較表を記入してください。

(4) 売上げ見通し

①売上見通し(単位:百万円)

- ・ 生産計画、販売計画など具体的に記入してください。
- ・ 販売開始後5年経過迄の売上と収益の見通しを記入してください。また、販売単価、販売数、原価など、売上と収益の算出根拠を具体的に展開して記入してください。

	販売単価	販売数	売上	製品原価	収益(粗利)	投資
例: 1年目(H 年度)	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇百万円	〇〇百万円	〇〇百万円	〇〇百万円
2年目(H 年度)	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇百万円	〇〇百万円	〇〇百万円	〇〇百万円
~~~~						
5年目(H 年度)	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇百万円	〇〇百万円	〇〇百万円	〇〇百万円

②売上見通し設定の考え方

- ・ 売上見通しについて、どのような仕組みで収益を得るのか、収益の算出根拠を含め、具体的な収益計画を説明してください。

(5) その他(研究開発成果の活用について特に期待される効果があれば具体的に説明すること)

### 13. キーワード

- (1) 技術キーワードとして、当該研究開発（自社が開発しようとしている内容に関連する最も重要と思われる技術）の「キーワード」を重要なものから順に記入してください。  
38頁のⅡ. 別添集（別添1）から必ず1つは選択し、その該当数字をキーワードの前につけて記入してください。
- 38頁のⅡ. 別添集（別添1）に無いキーワードは、本欄に記入せず、(4) フリーキーワードに記入して下さい。
- (2) 専門学術キーワードとして、本テーマの対象となる専門学術分野（学会名）について、38頁のⅡ. 別添集（別添2）に記載があるキーワードは、その該当数字をキーワードの前につけて記入、無いものはキーワードのみ記入して下さい。
- (3) 事業化キーワードとして、製品分野・サービス展開上のキーワードを記入してください。
- (4) フリーキーワードとして、(1)～(3)以外の語句を記入してください。

#### <重要>

記入されたキーワード（特に(1)技術キーワード）は、申請内容を評価する外部専門家を、適切な専門分野から選定する際の必須情報として用います。必ず記入してください！！

#### (1) 技術キーワード（1つ以上必ず記入すること）

(1) 例：4485	電子顕微鏡	(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

#### (2) 専門学術分野キーワード（1つ以上）

例：106 電子情報通信学会		例：日本光学会
----------------	--	---------

(↑別添2に記載があるものの記入例) (別添2に記載が無いものの記入例↑)

#### (3) 事業化キーワード

例：ユビキタス社会	例：街頭広告	
-----------	--------	--

#### (4) フリーキーワード

例：3D画像技術		
----------	--	--

### 14. 専門用語の解説

- ・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明してください。

### 15. 契約に関する合意

「〇〇 〇〇（代表者氏名）」及び「〇〇 〇〇（代表者氏名）」は、本研究開発テーマ「〇〇〇〇〇の研究開発」の契約に際して、NEDOより掲示された契約書（案）に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で提案書を提出します。また、業務の実施においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づいて行います。

- ・共同体の構成員の全ての代表者からの合意を得てください。
- ・共同体の構成員が、3者の場合は、『「〇〇 〇〇（代表者氏名）」、「〇〇 〇〇（代表者氏名）」及び「〇〇 〇〇（代表者氏名）」は、』としてください。

【添付資料3】

経費明細内訳書

提案テーマ	○○○○○に関する研究開発	事業全体
-------	---------------	------

(単位:千円) ※千円未満は切り捨て

項目	研究実施機関					
	合計	(法定事業者 名)	(橋渡し研究機関 名)	(機関名)	(機関名)	(機関名)
		△△△	▽▽▽	□□□	◇◇◇	☆☆☆
一般管理费率(%)						
① 機器設備費	0	0	0	0	0	0
ア. 機械装置費	0	0	0	0	0	0
イ. 土木・建設工事費	0	0	0	0	0	0
ウ. 保守・改造修理費	0	0	0	0	0	0
エ. 外注費	0	0	0	0	0	0
② 労務費	0	0	0	0	0	0
ア. 研究員費	0	0	0	0	0	0
イ. 補助員雇上費	0	0	0	0	0	0
③ 事業費	0	0	0	0	0	0
ア. 備品・消耗品費	0	0	0	0	0	0
イ. 旅費・交通費	0	0	0	0	0	0
ウ. 委員会費	0	0	0	0	0	0
エ. 報告書作成費	0	0	0	0	0	0
オ. 外注費	0	0	0	0	0	0
カ. 知的財産権関連経費	0	0	0	0	0	0
キ. その他特別費	0	0	0	0	0	0
小計 (①+②+③)	0	0	0	0	0	0
④ 一般管理費						
総経費	0	0	0	0	0	0
⑤ 消費税及び地方消費税(円)	0					
合計 (円)	0					

※ 欄に記載してください。  
 ※ 欄は記載しないでください。

【添付資料3】

経費明細内訳書

提案テーマ	〇〇〇〇〇に関する研究開発	平成27年度
-------	---------------	--------

(単位:千円) ※千円未満は切り捨て

項目	研究実施機関					
	合計	(法定事業者 々) △△△	(橋渡し研究機関 名) ▽▽▽	(機関名) □□□	(機関名) ◇◇◇	(機関名) ☆☆☆
一般管理费率(%)						
① 機器設備費	0	0	0	0	0	0
ア. 機械装置費	0	0	0	0	0	0
①〇〇〇装置【1-2】	0					
②□▽高精度切削装置【2】	0					
イ. 土木・建設工事費	0					
ウ. 保守・改造修理費	0					
エ. 外注費	0					
② 労務費	0	0	0	0	0	0
ア. 研究員費	0					
イ. 補助員雇上費	0					
③ 事業費	0	0	0	0	0	0
ア. 備品・消耗品費	0					
イ. 旅費・交通費	0					
ウ. 委員会費	0					
エ. 報告書作成費	0					
オ. 外注費	0					
カ. 知的財産権関連経費	0					
キ. その他特別費	0					
小計 (①+②+③)	0	0	0	0	0	0
④ 一般管理費	0	0	0	0	0	0
総経費	0	0	0	0	0	0
⑤ 消費税及び地方消費税(円)	0					
合計 (円)	0					

経費明細内訳書

提案テーマ

〇〇〇〇〇に関する研究開発

平成28年度

(単位:千円) ※千円未満は切り捨て

項目	研究実施機関					
	合計	(法定事業者 タ) △△△	(橋渡し研究機関 名) ▽▽▽	(機関名) □□□	(機関名) ◇◇◇	(機関名) ☆☆☆
一般管理费率(%)						
① 機器設備費	0	0	0	0	0	0
ア. 機械装置費	0	0	0	0	0	0
①〇〇〇装置【1-2】	0					
②□▽高精度切削装置【2】	0					
イ. 土木・建設工事費	0					
ウ. 保守・改造修理費	0					
エ. 外注費	0					
② 労務費	0	0	0	0	0	0
ア. 研究員費	0					
イ. 補助員雇上費	0					
③ 事業費	0	0	0	0	0	0
ア. 備品・消耗品費	0					
イ. 旅費・交通費	0					
ウ. 委員会費	0					
エ. 報告書作成費	0					
オ. 外注費	0					
カ. 知的財産権関連経費	0					
キ. その他特別費	0					
小 計 (①+②+③)	0	0	0	0	0	0
④ 一般管理費	0	0	0	0	0	0
総 経 費	0	0	0	0	0	0
⑤ 消費税及び地方消費税(円)	0					
合 計 ( 円 )	0					

※ 欄を記載してください。

※ ア. 機械装置費に計上する装置数が3以上の場合は、適宜行を増やして対応ください。装置名の最後に研究開発項目番号を記載してください。

経費明細内訳書

提案テーマ

〇〇〇〇〇に関する研究開発

平成29年度

(単位:千円) ※千円未満は切り捨て

項目	研究実施機関					
	合計	(法認定事業者 名) △△△	(橋渡し研究機関 名) ▽▽▽	(機関名) □□□	(機関名) ◇◇◇	(機関名) ☆☆☆
一般管理费率(%)						
① 機器設備費	0	0	0	0	0	0
ア. 機械装置費	0	0	0	0	0	0
①〇〇〇装置【1-2】	0					
②□▽高精度切削装置【2】	0					
イ. 土木・建設工事費	0					
ウ. 保守・改造修理費	0					
エ. 外注費	0					
② 労務費	0	0	0	0	0	0
ア. 研究員費	0					
イ. 補助員雇上費	0					
③ 事業費	0	0	0	0	0	0
ア. 備品・消耗品費	0					
イ. 旅費・交通費	0					
ウ. 委員会費	0					
エ. 報告書作成費	0					
オ. 外注費	0					
カ. 知的財産権関連経費	0					
キ. その他特別費	0					
小計 (①+②+③)	0	0	0	0	0	0
④ 一般管理費	0	0	0	0	0	0
総経費	0	0	0	0	0	0
⑤ 消費税及び地方消費税(円)	0					
合計 (円)	0					

※ 欄を記載してください。

※ ア. 機械装置費に計上する装置数が3以上の場合は、適宜行を増やして対応ください。装置名の最後に研究開発項目番号を記載してください。

**添付資料 4**

参加機関の概要(参加機関ごとに作成)

研究実施機関	<input type="checkbox"/> 法認定事業者	<input type="checkbox"/> 協力者(橋渡し研究機関)	<input type="checkbox"/> 協力者
--------	---------------------------------	---------------------------------------	------------------------------

※該当する機関にチェックを入れてください。

**1 提案者の名称等**

名 称:	
代表者名及び役職名:	
法人設立日:	
本社住所:(〒            -            )	
主な事業所所在地 住 所:(〒            -            )	
事業所名:	
電話番号:	FAX番号:
応募者のホームページ:	
資本金(出資金)	万円
役員・従業員数等	合計      名(内訳:役員      名、従業員      名、パート等      名)
主たる業種 <small>(日本標準産業分類、中分類)</small>	

**2 提案者の事業内容等** ・*公的研究機関及び大学については記載不要*

- ・ 現在の事業内容、主な製品等を記載して下さい。
- ・ 過去5年間に市場に出した主要な新製品、新事業があれば、下表に記載し、その売上高を記載して下さい。  
下表の欄は必要に応じて追加して下さい。

年度	新製品/新事業名	新製品/新事業の概要	売上高(百万円)
H21	新製品A	***製造装置	〇〇〇百万円

**3 提案者の現況等** ・*公的研究機関及び大学については記載不要*

(1)提案者の沿革

(2)代表者の略歴

(3) 役員一覧(監査役を含む。)

氏名	フリガナ	生年月日	性別	兼務	兼務機関での	
					役職	勤務形態(いずれかに○)
						常勤・非常勤
						常勤・非常勤
						常勤・非常勤
						常勤・非常勤
						常勤・非常勤

(4) 株主等一覧表

主な株主 又は出資者	株主名又は出資者名		所在地	大企業	出資比率 (%)
	(注) 出資比率の高いものから記載し、大企業は【 】に◎を記載してください。6番目以降は「ほか○人」と記載してください。	①			【 】
②				【 】	%
③				【 】	%
④				【 】	%
⑤				【 】	%
⑥		ほか	人		

(5) 経営状況表 (注) 直近4期分の実績を記載して下さい。

(単位: 百万円)

	/	/	/	/
①売上高(当期収入合計額)				
②経常利益(当期収入合計額-当期支出合計額)				
③当期利益				
減価償却費				
繰越利益(次期繰越し収支差額)				
研究開発費				
設備投資額				

※財務状況に関するコメント(財務状況及び事業計画の遂行に必要な財源等に関し特に説明が必要な場合に補足内容を記載してください。)

#### 4 その他の補助金・委託費制度との関係等

##### (1) 補助金・委託費制度等による受給の有無

過去に受給を受けた事業（提案時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）について記載してください。

実施機関の名称	▲▲省
制度の名称	平成〇〇年度××開発補助金
採択者名称	◇◇株式会社
研究者名（エフォート）	▲▲部 ○○○○ 主任研究員（50%）、▽▽▽▽▽研究員（75%）
対象期間	平成 年 月 日 ~平成 年 月 日
テーマ名	~~の開発
補助金・委託費額	〇〇円
事業の概要 （目標・成果）	詳しく、明瞭に記述して下さい。
本提案との差異	本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。

- ・ 当該研究開発の全て若しくは一部及び当該研究開発に関連した開発で国、NEDO及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入してください。
- ・ 複数ある場合は表をコピーして補助金・委託費ごとに記入して下さい。
- ・ 無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）
- ・ 記入内容としては、実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金・委託費の額、成果（特に実用化した場合の事業展開）、本提案との差違を記入してください。
- ・ 記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の申請として審査の打ち切り、採択決定後の場合でも採択決定の取り消し等を行うことがあります。
- ・ なお、研究項目が異なっても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。

##### (2) 補助金・委託費制度等による受給を申請中又は申請予定の事業

現在申請中の補助金・委託費制度等、又は今後申請を予定している補助金・委託費制度等について記載してください。

実施機関の名称	▲▲省
制度の名称	平成〇〇年度××開発補助金
申請者名称	◇◇株式会社
研究者名（エフォート）	▲▲部 ○○○○ 主任研究員（50%）、▽▽▽▽▽研究員（75%）
対象期間	平成 年 月 日 ~平成 年 月 日
テーマ名	~~の開発
補助金・委託費額	〇〇円
事業の概要 （目標）	詳しく、明瞭に記述して下さい。
本提案との差異	本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。

- ・ 当該研究開発の全て若しくは一部及び当該研究開発に関連した開発を、国、NEDO及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在申請中、又は申請を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、目標、本提案との差違等）を記入してください。
- ・ 複数ある場合は表をコピーして補助金・委託費ごとに記入してください。
- ・ 無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）
- ・ なお、研究項目が異なっても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。

添付資料5

業務管理者研究経歴書

- ・ 業務管理者1名につき、1ページ以内で記載してください。
- ・ 申請者及び全ての連名申請者について、機関毎に1名ずつ選定し、作成してください。

氏名	根戸 太郎	年齢	歳
① 所属・役職			
② 最終学歴、学位	(最終学歴) ○○大学大学院工学研究科 (学位) 工学博士 (取得年) 1980年		
③ 技術開発実務及び管理経歴、ならびに受賞歴	昭和○○—○○年    △△の技術開発 昭和○○年        △△の技術開発に関し○○学会○○賞受賞 昭和○○—平成○年 「○○の研究プロジェクト」においてプロジェクトリーダー		
④ 現在参画しているプロジェクト名	○○省「○○の技術開発プロジェクト」において○○の研究		
⑤ 当該提案テーマに関する最近5年間の主要論文、研究発表、特許等	[論文] 1) 根戸太郎他、 “○○の固体有機構造” , ○○学会誌, 72巻10号, p. 930, 1999. [研究発表] 1) T. Nedo et al. “○○○○”、 The △△Fall Meeting’ 99, Oct. 12, 1999. [特許] 1) 根戸太郎他、 “○○組成物”、 特開平 10-123456		
⑥ 本提案との関係	平成○年度から、本技術開発テーマに関連する先導調査研究「○○の調査研究」に従事し、○○調査委員会の委員長を務める等主導的役割を果たしてきた		

添付資料6

主要開発者一覧

- ・ 提案テーマに携わる予定の全ての開発者等（業務管理者を含む）の氏名等を記載してください。
- ・ 提案者及び全ての連名提案者について、本提案テーマ携わる予定の開発者等全ての氏名等をひとつの表に記載してください。

開発者氏名	所属・役職（職名）	技術開発分担
(業務管理者) 〇〇 〇〇	(株)〇〇〇〇・〇〇〇部 (〇〇課長) ・ 当該技術開発に関連する主な開発 経歴を数行程度で記載してくださ い。	・ 提案テーマにおける役割を 簡潔に記載してください。
(開発者) 〇〇 〇〇	(株)〇〇〇〇・〇〇〇部 (〇〇主任)	〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学・〇〇学部 (准教授)	〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学・〇〇学部 (助教)	
〇〇 〇〇		
〇〇 〇〇		



**添付資料 8**

NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票

- ・研究機関ごとに本票を複製して記入してください。
- ・実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数（最大5種）お書きください。
- ・企業以外につきましては、研究機関内で把握している範囲で記載をお願いします。
- ・提案書とは別にNEDOへ直接提出してもかまいません。

1. 今回提案するプロジェクト	〇〇プロジェクト
2. 研究機関名	〇〇株式会社
3. 記載免除条件	<p><b>&lt;下に該当する場合チェックしてください。いずれかに該当する場合は、5. 過去の実績実績欄の記載は不要です。&gt;</b></p> <input type="checkbox"/> 過去15年間、NEDOプロジェクト実施実績なし <input type="checkbox"/> 同一年度に既に他の公募にて提出済 (応募事業名：〇〇〇技術開発 公募期間：平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日)
4. 直近の報告	<input type="checkbox"/> 類似の調査にて報告済 (調査名：〇〇に関する調査) <input type="checkbox"/> 同一年度に追跡調査にて報告済 (*プロジェクト終了後6年以内) (該当プロジェクト名：P00000 〇〇技術開発) <input type="checkbox"/> 同一年度に企業化状況報告書 (または実用化状況報告書) にて報告済 (*助成事業 ¹ 終了後6年以内、基盤技術研究促進事業終了後11年以内または16年以内) (該当制度名：〇〇事業)
5. 過去の実績実績①	<p>※過去15年以内に実施したNEDOプロジェクトの成果について記載してください。なお、「3. 記載免除条件」に該当する場合は、本項目の記載は一切不要です。また、「4. 直近の報告」に記載した事業については、記載不要です。ただし、上記のいずれかに該当する場合でも、報告内容に変更があった場合は、本項目に記載いただいてもかまいません。(直接的なものに限らず、波及効果・派生技術・知財ライセンス・技術移転等も含む)</p> <p>●プロジェクト番号・名称：P00000 〇〇技術開発                  ●実施期間：〇〇年度～〇〇年度                  ●プロジェクトで生み出した技術的成果と実用化の状況：                  (例) ・当該事業で開発した〇〇〇技術を、△△△製品の×××として活用している。                  ・当該事業で開発した〇〇〇技術を利用して△△△の製造をしている。                  ・当該事業で取得した〇〇に関する特許を他社にライセンス供与している。</p> <p>●成果が活用されている製品名：                  ●直近の売上額：                  ●その他(社会的便益、CO₂削減効果、雇用創出など)：                  ●記入者連絡先  <input type="checkbox"/> 提案者と同じ  <input type="checkbox"/> それ以外                  所属・氏名： 住所：                  電話： e-Mail：</p>

(留意事項)

* 1：対象となる助成事業：

- ・福祉用具研究開発推進事業 ・産業技術研究開発助成事業
- ・大学発事業創出実用化研究開発事業 ・新エネルギーベンチャー技術革新事業(フェーズC)
- ・国民の健康寿命延伸に資する医療機器・生活支援機器等の実用化開発
- ・平成24年度イノベーション実用化ベンチャー支援事業
- ・課題設定型産業技術開発費助成金交付規程を適用する事業(下記リンク先の各種一覧表)のうち助成を受けている方

[http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_manual_manual.html](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_manual_manual.html)

・御回答いただきました情報は、厳重な管理の下で取り扱うこととし、情報を外部に公表する場合には、統計処理するなど機関名等が特定されないよういたします。

平成 27 年度革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）

「提案書類等チェックリスト」

【提案書類等チェックリスト（□欄にチェックして提出してください）】

行/欄	提出書類	法認定事業者	協力者
<b>1 提出書類（正：片面印刷） 1部</b>			
<input type="checkbox"/>	① 提案書（頭紙）	●	●
<input type="checkbox"/>	② 要約（添付資料1）	●	—
<input type="checkbox"/>	③ 研究開発内容等説明書（添付資料2）	●	—
<input type="checkbox"/>	④ 経費明細内訳書（添付資料3）	● 27～29 年度分	● 27～29 年度分
<input type="checkbox"/>	⑤ 参加機関の概要（添付資料4）	●	●
<input type="checkbox"/>	⑥ 業務管理者研究経歴書（添付資料5）	●	●
<input type="checkbox"/>	⑦ 主要開発者一覧（添付資料6）	● 全体でまとめてください	—
<input type="checkbox"/>	⑧ 利害関係のある評価者（添付資料7）	● 全体でまとめてください	—
<input type="checkbox"/>	⑨ NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票（添付資料8）	●	●
<input type="checkbox"/>	⑩ 法人案内パンフレット等（法人経歴のわかるもの）	●	● 公設試及び大学は不要
<input type="checkbox"/>	⑪ 直近2期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書及び個別注記表）	●	● 公設試及び大学は不要
<input type="checkbox"/>	⑫ e-Rad「応募内容提案書」	●	●
<b>2 提出書類（副：両面印刷） ※上記①②③④⑤⑦⑩⑪の写し 15部</b>			
<input type="checkbox"/>	① 提案書（本紙）	●	●
<input type="checkbox"/>	② 要約（添付資料1）	●	—
<input type="checkbox"/>	③ 研究開発内容等説明書（添付資料2）	●	—
<input type="checkbox"/>	④ 経費明細内訳書（添付資料3）	● 27～29 年度分	● 27～29 年度分
<input type="checkbox"/>	⑤ 参加機関の概要（添付資料4）	●	●
<input type="checkbox"/>	⑦ 主要開発者一覧（添付資料6）	● 全体でまとめてください	—
<input type="checkbox"/>	⑩ 法人案内パンフレット等（法人経歴のわかるもの）	●	● 公設試及び大学は不要
<input type="checkbox"/>	⑪ 直近2期分の決算報告書（貸借対照表、損益計算書及び個別注記表）	●	● 公設試及び大学は不要
<b>3 CD-R（⑬⑭の電子データを保存したCD-R） 1部</b>			
<input type="checkbox"/>	⑬ 情報項目ファイル（エクセルファイル） ファイル名：「H27 革新的ものづくり情報項目ファイル.xls」	● 全体で1ファイル作成してください	●
<input type="checkbox"/>	⑭ 上記①～⑦の電子データ	●	●
<b>4 その他 1部</b>			
<input type="checkbox"/>	⑮ 「提案書類等チェックリスト・提案書類等整理番号通知票」（本票）	●	●
<input type="checkbox"/>	⑯ ⑮の返送用封筒（連絡責任者の宛名明記、82円切手貼付）	●	●
<input type="checkbox"/>	⑰ 提案用書類等整理番号通知票	●	●

＜注意事項＞

※ 協力者の提出書類についても、法認定事業者がまとめて提出してください。

※ ⑫は、e-Rad の申請手続きで印刷した「応募内容提案書」を全ページを印刷・提出してください。

※ CD-Rは⑬及び⑭の電子データを1枚に保存して、上面に「法認定事業者名」及び「提案テーマ名」を記載してください。

平成27年度「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」  
に関する提案用書類等整理番号通知票（NEDO控）

提出日：平成27年 月 日

NEDO 受付番号：

提案テーマ：「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の技術開発」

提案者名（法認定事業者）：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇株式会社

＜受付者サイン＞

＜受付者サイン＞

平成27年度「革新的ものづくり産業創出連携促進事業（プロジェクト委託型）」  
に関する提案用書類等整理番号通知票（提案者控）

平成27年 月 日

NEDO 受付番号：

提案テーマ：「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の技術開発」

提案者名（法認定事業者）：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇株式会社 御中

貴殿から提出された標記提案書類に整理番号を付与しましたのでご連絡申し上げます。

NEDOイノベーション推進部 プラットフォームG